

「校長室」 通信

第7号

都城市立姫城中学校だより

令和2年7月31日（金） 文責：校長 永山博一

8月は、平和について考える機会です。

8月 6日 広島平和祈念式典【規模縮小】

8月 9日 長崎平和祈念式典【規模縮小】

8月15日 全国戦没者追悼式（終戦の日）

75年前、第二次世界大戦で戦死した旧日本軍は、約230万人、空襲や原爆で死亡した一般市民は、約80万人と言われています。

小6の修学旅行では、鹿児島県知覧の特攻隊資料館 3年生は、昨年修学旅行で広島に行き、原爆資料館・被爆体験者の講話等を聞く平和学習の機会がありました。 2年生も11月末には、唯一国内で戦場になった沖縄の修学旅行で平和教育を予定しています。

現在も世界中では、毎日命の危機にさらされている国や地域、子供たちもいます。7月～8月にかけては、テレビ番組や新聞記事で、戦争や平和について、見聞きする機会が多くあります。

平和な日本にいることを感謝するとともに、戦争や争いの現実をこの時期に学べるといいと思います。

8月15日正午には、全国で黙祷（もくとう）の時間が設定されます。

● 都城地区大空襲

昭和20年(1945)3月18日の西飛行場（都原町）への空襲を始まりとして、東飛行場（都北町～三股町蓼池付近）で断続的に空襲が続いていた都城ですが、広島に原子爆弾が投下された8月6日に大空襲を受けました。

正午過ぎから始まった空襲は、市街地の西部地域に焼夷弾を投下した第一波から、消火活動



の妨害のための機銃掃射を繰り返した第四波攻撃まで続き、松元・八幡・牟田・宮丸・姫城・大王・上町・中町・前田・平江・小松原の各町が焼失、52人が犠牲になりました。

【都城市：1945年 消火活動をする人々】

● 都城からの特攻隊と飛行場

日本軍は、敵艦に体当たりする攻撃、いわゆる「特攻」を行いました。都城の飛行場からは昭和20年4月6日から7月1日にかけて全部で10隊、79人が出撃していきました。

最初の出撃は、昭和20年(1945)4月6日14時10分、「都城西飛行場（都原町）」から沖縄周辺に向けた第一特別振武隊8人でした。4月28日の空襲により西飛行場が壊滅した後は、「東飛行場（都北町～三股町蓼池付近）」から飛び立っています。

夏休み『コロナ対策』・『3つを大切に』

● 3密を避ける ①命を大切に
②家族を大切に ③時間を大切に

★ 2学期始業式 8月24日（月）

コロナウィルス感染が、全国、そして宮崎県内にも急速な勢いで、広がっています。2学期は、体育大会、秋季中体連、文化発表会、修学旅行等の大きな行事が予定されています。2学期を予定どおりスタートし、学校生活を行うためにもこの夏休みは万全の対策を生徒の皆さん、ご家庭でもお願いいたします。

● マスク着用（熱中症に注意しながら）

● 手洗い、うがい ● 毎日の検温

● 不要な外出を控える ● 人混みを避ける

● 感染された方への偏見や差別がないように

校長の独り言 『あいさつは一生もの』

★以前、一般企業社員を対象にした「社会人として失格」というアンケートが、載っていました。その結果は

1位「あいさつをしない人」 2位「時間を守らない人」

以下「ミスや失敗をしても謝らない人」、「ミスや失敗を他人のせいにする人」でした。姫城中には『礼を正す』『時を守る』生徒信条があります。あいさつはわずか数秒ですが、相手に伝わる礼の仕方と声、タイミングもあります。そして笑顔があると最高ですね。日々実践していないと急にはできません。『あいさつ』が、人生をチャンスに変えることもあります。逆にあいさつができないことで信頼を失うこともあります。マックでは以前『笑顔は0円マクドナルド』というお客様対応があったようです。

★もう一つ忘れられない言葉を紹介します。私が小学6年時の二川先生が「お金や物は、人ととられることもあるけれど、勉強したことは誰にもとられることはないよ。勉強したことが財産だよ。」と、よくおっしゃっていました。社会の授業が楽しく歴史に興味湧き、好きになりました。私が教師になったのも先生のお陰です。皆さんにとって勉強は机の上の勉強だけでなく、人間関係、家庭生活、部活動など日々勉強することはたくさんあります。58歳になっても、日々あいさつと勉強の連続です。